

# 堆肥の連用による ダイズ子実の放射性セシウム吸収抑制

福島県農業総合センター作物園芸部 畑作科

事業名 放射性物質除去・低減技術開発事業

小事業名 カリウム等による吸収抑制技術の開発

研究課題名 畑作物のカリウム等による吸収抑制技術の開発

担当者 竹内恵

## I 新技術の解説

### 1 要旨

堆肥を連用すると、土壤中の交換性カリ含量が高まることでダイズ子実の放射性セシウム濃度が低下することから、放射性セシウム吸収抑制対策として有効である。

- (1) 2年目の土壤中の交換性カリ含量は、大豆化成を連用すると減少したが、堆肥2t/10aを連用すると同等であり、堆肥3t/10aを連用すると増加する傾向が見られた(図1)。
- (2) 2年目の子実の放射性セシウム濃度は、大豆化成を連用すると初年目に対して33%の減少であったが、堆肥2t/10a連用区、3t/10a連用区ではそれぞれ約70%減少した(図2)。

### 2 期待される効果

- (1) 放射性セシウム吸収に対する堆肥の投入効果を示すことができる。

### 3 活用上の留意点

- (1) 今回試験を行った土壤は灰色低地土であり、供試した堆肥は市販の牛糞バーク堆肥(N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=1.3:1.8:2.5)である。

## II 具体的データ等

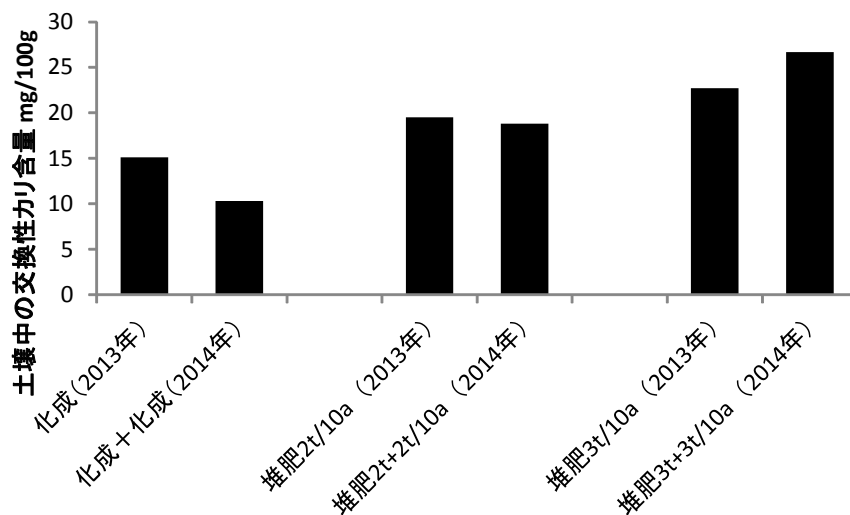


図1 栽培後土壌の交換性カリ含量

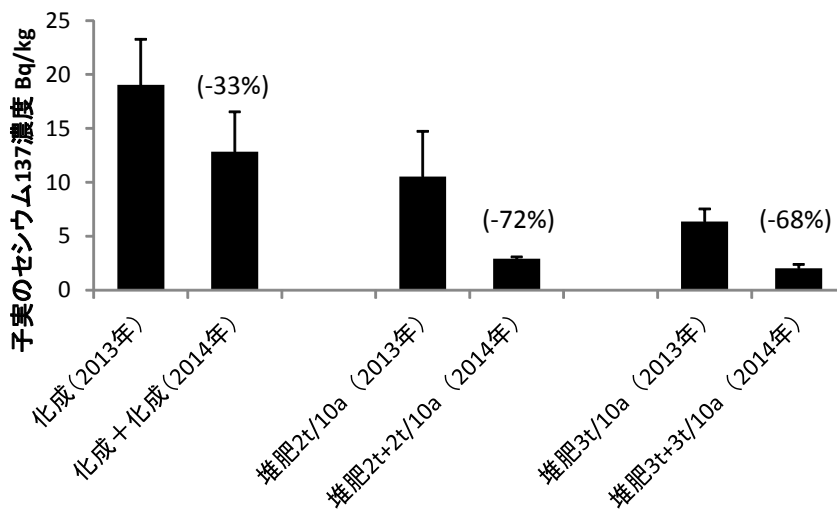


図2 ダイズ子実のセシウム137濃度

注 子実の放射性セシウム濃度は水分15%に補正した

## III その他

### 1 執筆者

竹内恵

### 2 実施期間

平成25～26年度

### 3 主な参考文献・資料